

第7次みよし市行政改革アクションプラン（案）
（令和3年度～令和7年度）

令和3年 月

みよし市

目次

第1章 アクションプランの基本的事項

- 1 策定の趣旨.....1
- 2 概要.....2
- 3 計画期間.....2
- 4 今後の見通し.....2

第2章 取組項目

- 1 体系表.....5
- 2 取組項目個別シート.....7

第1章 アクションプランの基本的事項

1 策定の趣旨

本市では、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「第7次みよし市行政改革大綱」を策定しました。この大綱では、第6次行政改革大綱における取組の検証を踏まえ、あらゆる環境変化に対応できる持続可能な行財政基盤を確立するため、時代の流れに合った質の高い行政サービスを提供し、改革するとともに、市が目指す将来像「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」の実現に向けて行政改革を進めることを基本方針としています。

第7次行政改革大綱では、その基本方針に基づき、次の視点を持って改革を進めることとしています。

行政改革の視点＝持続可能な行財政運営

第2次みよし市総合計画を着実に推進し、行財政を取り巻く環境に柔軟かつ的確に対応しながら、日常業務における事業の効率化や事務事業の見直しを実施し、効果的、効率的に持続可能な行財政運営を推進する。

「第7次みよし市行政改革アクションプラン」は、行政改革大綱に示した基本方針及び視点に基づく次の4つの重点項目を推進するために具体的な取組を示した計画になります。

行政改革の4つの重点項目

- 重点項目1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくろう
- 重点項目2 次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう
- 重点項目3 多様な主体との連携を推進するまちをつくろう
- 重点項目4 将来に向けた組織力の強いまちをつくろう

2 概要

第7次アクションプランでは大綱に掲げる4つの重点項目に基づいて、43の取組項目を定めています。

それぞれの取組項目については、「現状と課題」「取組目標」「方法・手段」「取組実績」を設定しており、毎年度実施状況を確認・検証し、その結果を市民に公表することで計画の進捗管理及び改革の推進を図ります。

また、社会経済情勢の変化や地方分権の推進などによる状況の変化をアクションプランに的確に反映させ、最新の行政課題に対応した取組を進めていきます。

3 計画期間

第7次アクションプランの計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

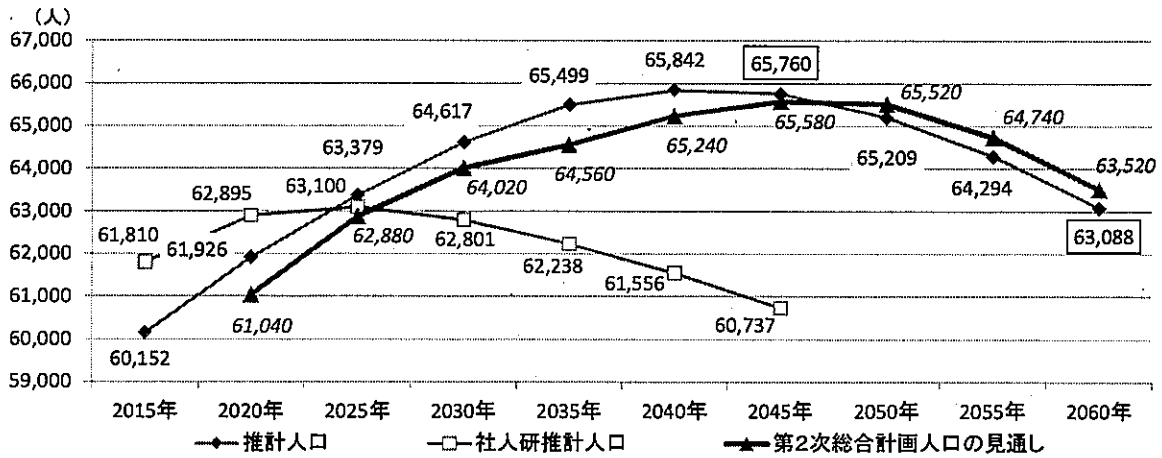
4 今後の見通し

(1)人口構造の変化

第2次総合計画における本市の人口推計では、今後令和32(2050)年まで総人口が増加し続ける見込みですが、15歳以上65歳未満の生産年齢人口は、令和9年にピークを迎え、以後緩やかに減少に転じる見込みです。一方で、65歳以上の老年人口は、本市の総人口の増加のピークを過ぎても増加を続ける見込みです。

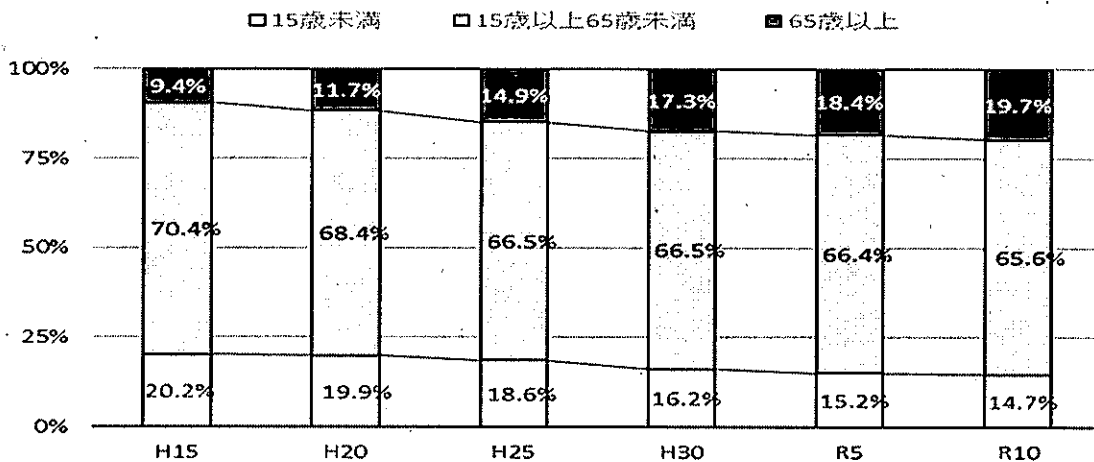
生産年齢人口の減少は、社会経済の活力低下や税収の減少につながり、また、老年人口の増加は、これまで社会を支えてきた高齢者の医療や介護に係る扶助費等の増加につながります。高齢化の進行に伴う人口構造の変化によって、本市財政状況への様々な影響が懸念されます。

本市の推計人口



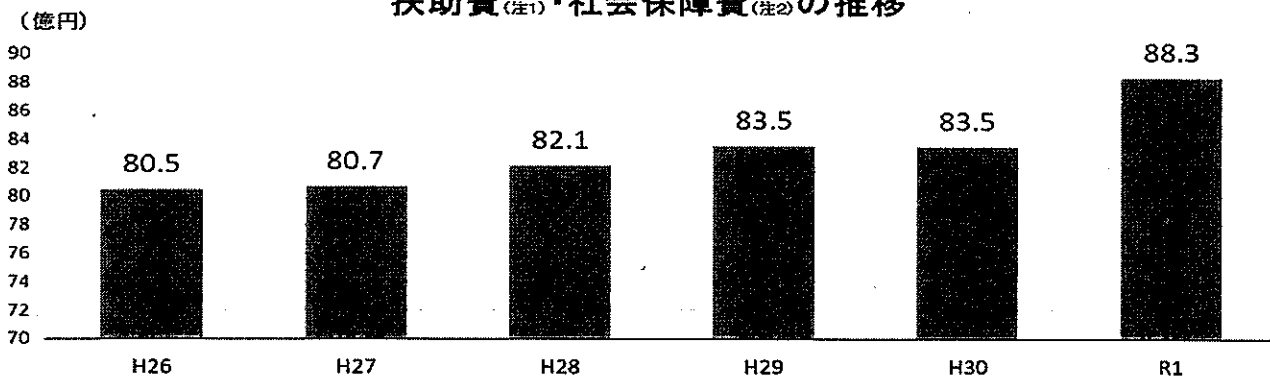
出典：「第2期みよし市まち・ひと・しごと創生【人口ビジョン】」

年齢3区分別人口割合の推移



出典：「みよし市まち・ひと・しごと創生【人口ビジョン】」

扶助費^(注1)・社会保障費^(注2)の推移



出典：「みよし市まち・ひと・しごと創生【人口ビジョン】」

(注1) 扶助費とは、社会保障制度の一環として、高齢者、児童の保護者、生活困窮者、心身障がい者等に対して行っている様々な支援に要する経費。

(注2) 社会保障費とは、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計における給付費（人件費や事務費等を除く）等の合計額。

※グラフは、扶助費と社会保障費の合計額。

(2) 今までにない視点の検討

本市の財政状況は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響や税制改正による法人市民税の一部国税化などにより、歳入の確保が厳しい状況にあります。

このような状況下で、これまでに整備した公共施設などが老朽化し順次更新時期を迎えることから、維持管理費や大規模な修繕費が今後発生するなど、公共施設のマネジメントに必要な経費も増加することが見込まれています。

また、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組やICT推進による事務の効率化に向けた取組など、様々な社会情勢の変化に対して迅速かつ適切に対応していく必要があります。

これらの課題に取り組んでいくためにも、限られた財源のもと、持続可能な行財政運営を行い、市民満足度の高い行政サービスを提供できるよう、日々の業務改善はもとより、自主的な行政改革に取り組む必要があります。

第2章 取組項目

1 体系表

（「取組番号」に※印が付いているものは、新規の取組項目（28項目）です。）

重点項目1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくろう

推進項目	取組番号	取組項目	主担当所属名	ページ
(1)PDCAサイクルによる事業の精査	1	行政評価システムの推進	企画政策課	7
(2)デジタル技術を活用した行政サービスの向上や業務の効率化	※2	AIチャットボットによる総合案内サービスの充実	広報情報課	8
	※3	情報システムの標準化の検討	広報情報課	9
	※4	キャッシュレス決済の推進	広報情報課(所管課)	10
	※5	AI-OCR、RPAを活用した業務効率の向上	広報情報課	11
(3)窓口サービスの充実	※6	マイナンバーカードの普及と利活用の促進	企画政策課 市民課 広報情報課	12
	※7	行政手続の簡素化	企画政策課(所管課)	13
	※8	オンライン手続の推進	広報情報課(所管課)	14
	※9	電子図書館サービスの導入	生涯学習推進課	15

重点項目2 次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう

推進項目	取組番号	取組項目	担当所属名	ページ
(1)歳入の積極的な確保	10	市税収納率の向上	納税課(所管課)	16
	11	税外収入の確保	所管課	17
	12	広告収入の確保	財政課	18
	※13	ふるさと納税の拡充	財政課	19
	※14	国・県補助金等の積極的な活用	財政課	20
(2)受益者負担の適正化	15	受益者負担の適正化	企画政策課	21
(3)補助金等の適正化	16	補助金等の見直し	企画政策課	22
(4)市有財産の適切な管理・運用	※17	再生可能エネルギーの導入	環境課(所管課)	23
	18	公共施設等の総合的かつ計画的な管理	財政課(所管課)	24
	※19	基金の計画的な運用	財政課	25
(5)公営企業及び特別会計の健全な運営	20	下水道事業の健全な運営	下水道課	26
	21	新公立病院改革プランの推進	市民病院	27
	22	国民健康保険特別会計の健全な運営	保険年金課 納税課 健康推進課	28
	23	介護保険特別会計の健全な運営	長寿介護課	29

重点項目3 多様な主体との連携を推進するまちをつくろう

推進項目	取組番号	取組項目	担当所属名	ページ
(1)市民との協働の推進	※24	防災リーダー、防災ボランティアコーディネーターの養成	防災安全課	30
	※25	市民活動団体の活動支援	協働推進課	31
	※26	地域・市民との協働の連携強化	協働推進課	32
	※27	地域と一体となった伝統芸能などの伝承	資料館	33
(2)民間活力の積極的な活用	28	地域包括支援センターの民間委託の推進	長寿介護課	34
	※29	生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援の推進	福祉課	35
	※30	障がい者等サポートセンター事業の実施	福祉課	36
	※31	公共施設の包括管理の検討	財政課	37
(3)近隣市町との連携	※32	広域消防の適正運営	防災安全課	38
(4)企業・大学等との連携	※33	協定を結んでいる企業・大学との連携	企画政策課(所管課)	39
	※34	ホームタウンパートナーチームとの連携	スポーツ課	40

重点項目4 将来に向けた組織力の強いまちをつくろう

推進項目	取組番号	取組項目	担当所属名	ページ
(1)機能的な行政組織の構築	※35	柔軟で機動的な組織の見直し検討	企画政策課 人事課	41
	※36	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業実施の推進	保険年金課 健康推進課 長寿介護課	42
(2)リスクマネジメント体制の強化	※37	大規模地震に備えた災害対策の推進	防災安全課	43
	※38	情報セキュリティに対するリスクマネジメントの強化	広報情報課	44
(3)行政需要に応じた人事配置	39	適正な人事配置	人事課	45
(4)組織力向上につながる人材確保と育成	40	多様な人材確保	人事課	46
	41	将来に向けた人材育成	人事課	47
	※42	女性の職業生活における活躍の推進	人事課	48
(5)多様で弾力的な働き方の推進	※43	在宅勤務の推進	人事課	49

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営を するまちをつくらう		推進項目	(1) PDCAサイクルによる事業の精査		
取組番号	1	取組項目	行政評価システムの推進	担当所属名	企画政策課	


令和2年度 の現状と課題 策定時期	<p>【現状】 第2次みよし市総合計画(以下「市総合計画」という。)を着実に推進するため、各施策の進行管理の手段とすること、行政活動の市民への説明責任を果たすこと、さらには職員がコストや成果を意識して職務を遂行する風土を醸成することを目的とし、行政評価システムを運用している。 本市の行政評価システムは、市総合計画の体系のうち、施策及び事務事業について評価している。 今後も行政評価システムが十分に機能するよう取り組んでいく必要がある。</p> <p>【課題】 評価の内容や結果が市民に的確に伝えられるようにするとともに、今後、SDGs推進の評価について、行政評価システムに関連付けて総合的に評価する必要がある。 (令和2年度実績 事務事業の見直し、廃止・休止する割合 14.6%、行政評価に対する取組の市民満足度割合 54.1%)</p>
-------------------------	--

取組目標	行政評価を行い、評価結果を総合計画の実施計画、予算編成に反映させる。 また、時代に合わせて、行政評価システムの見直しを行う。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	事務事業の見直し、廃止・休止する割合	計画	15%以上	15%以上	15%以上	15%以上	15%以上
		実績					
	行政評価に対する取組の市民満足度割合	計画	57.0%	57.5%	58.0%	58.5%	59.0%
実績							

方法・手段	以下の方法で評価を行う。 1 施策評価 市総合計画に掲げる施策について、「達成度」、「市民満足度」、「優先度」の各指標を数値化したものを基に各施策の方向性を検討し、その結果を踏まえて次年度の重点施策を決定する。 2 事務事業評価 施策の目標を実現するために実施する具体的な行政活動である事務事業について、「目的妥当性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」の視点から評価し、今後の事業の方向性を決定する。 3 評価方法の検討 実施している事務事業がSDGsの視点から、何の目標にどのように貢献しているかを検証する。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	行政評価システムの運用	計画	実施					
		実績						
	SDGsの視点での事務事業の検証	計画	検討		実施			
実績								

令和3年度 取組実績	進捗度		評価				
	効果額	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	事務事業評価により、縮小・廃止となった事業の事業費(千円)	見込	-	-	-	-	-
		実績					

行政評価システムの推進 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくる	推進項目	(2) デジタル技術を活用した行政サービスの向上や業務の効率化
取組番号	2	取組項目	AIチャットボットによる総合案内サービスの充実 担当所属名 広報情報課デジタル化推進室

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 令和2年11月から導入したAIチャットボット(※1)(※2)による総合案内サービスにより、市民からの問い合わせにAIによる24時間対応での回答を実施している。</p> <p>【課題】 令和2年12月25日に閣議決定された「デジタル・ガバメント(※3)実行計画」において、AIやRPA(※3)等による業務効率化の推進が示されたことから、AIチャットボットによる総合案内サービスの利用を促進し、精度を高めることにより行政サービスを向上させ、業務を効率化する必要がある。</p> <p>(※1)AI…人工知能。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターなどに行わせる技術のこと。 (※2)AIチャットボット…「チャットボット」とはチャット(chat:おしゃべり)とロボットを組み合わせた造語であり、市民からの問い合わせに対して自動応答する技術。AI(人工知能)に繰り返し学習させることで、回答の正確性を高めることができる。 (※3)デジタル・ガバメント…デジタル技術を活用して行政サービスを見直し、行政のあり方そのものを変革していくこと。 (※4)RPA …「Robotic Process Automation」の略。これまで人間が行っていた作業を、職員が作成したシナリオ(手順)に従い、ロボットが代替し自動化して行うことができるようにする技術のこと。</p>
-------------	--

取組目標	AIチャットボットによる総合案内サービスの想定質問数を増やし、自動回答の回答率を向上させる。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	想定質問数	計画	1,900件	1,950件	2,000件	2,050件	2,100件
		実績					
回答率	計画	75.0%	77.0%	80.0%	82.0%	85.0%	
	実績						

方法手段	AIチャットボットの利用について、ホームページで案内する等積極的な利用を推進する。 AIチャットボットの利用拡大によってAIの学習機会を増やすこと及び過去の質問等を分析し、想定される質問への回答を登録・整備する等定期的にAIのメンテナンスを行うことにより、AIの回答率を向上させる。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	総合案内サービスの実施	計画					
実績		実施					

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

AIチャットボットによる総合案内サービスの充実 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくらう	推進項目	(2) デジタル技術を活用した行政サービスの向上や業務の効率化
取組番号	3	取組項目	情報システムの標準化の検討
		担当所属名	広報情報課デジタル化推進室

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】</p> <p>令和2年12月25日に閣議決定された「デジタル・ガバメント実行計画」において、国が情報システムの共通基盤となる環境としてガバメントクラウド(※1)を構築し、その基盤上に標準システムを準備することが示された。地方自治体は令和7年度までに基幹系17業務(※2)をガバメントクラウド上の標準システムに移行することとされた。</p> <p>【課題】</p> <p>次期基幹系システムの調達方針を令和4年度までに決定し、基幹系17業務をガバメントクラウド上の標準システムに移行する必要がある。</p> <p>(※1)ガバメントクラウド…政府の情報システムについて、共通的な基盤や機能を提供する複数のクラウド(自庁にサーバやソフトウェアを保持せず、インターネット上でシステム提供サービスを利用できる仕組み)サービスを利用できる環境</p> <p>(※2)基幹系17業務…「基幹」とは、組織そのものの事業活動を指し、「基幹系17業務」とは、市民生活にかかわる17の業務(住民基本台帳、税、健康保険、介護など)を指す。</p>
-------------	--

取組目標	デジタル・ガバメント実行計画において示された基幹系17業務を、ガバメントクラウド上に構築された標準システムに移行する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	ガバメントクラウドに移行した業務数	計画	0件	0件	0件	0件	17件
実績							

方法 手段	令和4年度までに次期基幹系システムの調達方針を検討・確定し、住民記録・戸籍統合システム及び税総合システムの更新年度である令和6年度以後令和7年度までの移行を目指し、令和4年度から準備を進める。令和7年度までに基幹系17業務をガバメントクラウドに移行する。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	次期基幹系システムの検討	計画	検討					
		実績						
ガバメントクラウドへの移行	計画		準備		移行	実施		
	実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

情報システムの標準化の検討 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくろう	推進項目	(2) デジタル技術を活用した行政サービスの向上や業務の効率化
取組番号	4	取組項目	キャッシュレス決済の推進
		担当所属名	広報情報課デジタル化推進室(所管課)


令和2年度のアクションプランの現状と課題	<p>【現状】 令和2年度においてみよし市ではキャッシュレス化を導入していないが、令和3年4月から税のクレジットカード決済を開始する。</p> <p>【課題】 平成30年4月に経済産業省が公表した「キャッシュレス・ビジョン」によりキャッシュレス決済が推進されることとなったこと、令和2年5月に厚生労働省から提言された「新しい生活様式」における感染拡大防止施策としての非接触型の支払い形態であるキャッシュレスの活用のあることから、キャッシュレス化を進めていくことで行政サービスの向上を図る必要がある。</p>
----------------------	---

取組目標	キャッシュレス化を推進する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	キャッシュレス対応サービス数	計画	2件	3件	4件	20件	20件
実績							

方法・手段	税・料等で現金を取り扱う関係各課と調整を行い、市としてのキャッシュレス化の対応方針を決めキャッシュレス化を推進する。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	キャッシュレス化の推進	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

キャッシュレス決済の推進 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくる	推進項目	(2) デジタル技術を活用した行政サービスの向上や業務の効率化		
取組番号	5	取組項目	AI-OCR、RPAを活用した業務効率の向上	担当所属名	広報情報課デジタル化推進室

令和3年度 の 現 状 と 課 題	<p>【現状】 令和2年11月から稼働しているAI-OCR(※1)において、紙媒体に記載された手書きの文字のデータ化を開始した。また、令和2年10月から稼働しているRPAにおいて、職員が整備するシナリオによるシステムへのデータ入力等の自動化を開始した。</p> <p>【課題】 令和2年12月25日に閣議決定された「デジタル・ガバメント実行計画」において、AI・RPA等による業務効率化の推進が示されたことから、AI-OCRの利用拡大及びRPAのシナリオを増やすことにより、さらなる業務の効率化を進める必要がある。</p>
	(※1)AI-OCR…AI(人工知能)を用いて、紙に書かれている文字を認識し、データ化する技術

取組目標	AI-OCRの利用所属数を増やし、RPAのシナリオを増やす。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	AI-OCR利用所属数	計画	3課	4課	5課	6課	7課
		実績					
	RPAシナリオ数(累積)	計画	5個	7個	9個	11個	12個
実績							

方法・手段	AI-OCRの利用について周知し、積極的な利用を推進する。 RPAを活用できる業務について、関係各課と調整し対象業務を増やしていく中でシナリオを作成し、RPAの利用を推進する。 RPAのシナリオ作成に必要な知識・技術の習得に努める。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	AI-OCRの利用の推進	計画	実施				
		実績					
	RPAシナリオの作成、利用の推進	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

AI-OCR、RPAを活用した業務効率の向上 におけるSDGsゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 8 GROWTH 9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE 17 PARTNERSHIPS FOR ACTION

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくる		推進項目	(3) 窓口サービスの充実	
取組番号	6	取組項目	マイナンバーカードの普及と利活用の促進	担当所属名	企画政策課 市民課 デジタル化推進室

令和2年度 アクションプラン の現状と課題	【現状】 カード交付促進のため、窓口で写真の無料撮影を含めたマイナンバーカードの申請補助を実施している。また、マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付サービスを実施している。
	【課題】 マイナンバーカードを健康保険証や免許証として利用することが予定されている等から、更なる交付促進が求められている。 (令和2年度実績 カード交付率30.6%(令和3年3月末))

取組目標	マイナンバーカード交付円滑化計画に沿ったカード発行を目指す。 カードの多目的利用(市独自)の研究をする。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	カード交付率 (市民課)	計画	39.5%	71.1%	100.0%	100.0%	100.0%
		実績					
	市内病院での機器導入数	計画	3か所	5か所	6か所	8か所	9か所
実績							

方法手段	カードの多目的利用に向け、他市町の事例やその効果などを調査する。 カードの認証技術を様々なデータと連携することで、日常生活の利便性の向上を図る。 住民票等証明書のコンビニ交付について、更なるPRを実施する。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	カードの多目的利用の調査研究	計画	検討					▶
		実績						

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

マイナンバーカードの普及と利活用の促進 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくらう		推進項目	(3) 窓口サービスの充実	
取組番号	7	取組項目	行政手続の簡素化	担当所属名	企画政策課 デジタル化推進室


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 令和2年7月8日に国が官民と一体になって書面、押印、対面の見直しを進めるため、「書面、押印、対面」を原則とした制度・慣行・意識の抜本的見直しに向けた共同宣言を発表した。 国や県からの技術的助言を受けて、令和2年度に押印についての見直しを実施した。</p> <p>【課題】 令和2年度に実施した押印の見直しは申請者からの手続であり、市から申請者への行政手続についての押印見直しや請求書についての押印見直しについても順次検討を進める必要がある。 押印の見直しを始め、デジタル技術の活用を進める上での方針が必要である。</p>
-------------	--

取組目標	<p>市から発出する行政文書における押印の見直しや、民間などから提出される請求書についての押印の見直しを進める。 デジタル化に向けた方向性を示すことができるように、デジタル化構想を策定する。</p>
------	---

方法・手段	<p>市から発出する行政文書における押印の見直しや、民間などから提出される請求書における押印の見直しについて、関係課と調整をしながら順次進める。 これから迎えるデジタル社会において、一層の行政の効率化を図るためにデジタル化構想を策定する。</p>																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組計画</th> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">押印の見直し</td> <td>計画</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">実施</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">デジタル化構想策定 (デジタル化推進室)</td> <td>計画</td> <td colspan="2">実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	押印の見直し	計画			実施			実績						デジタル化構想策定 (デジタル化推進室)	計画	実施					実績					
取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7																												
押印の見直し	計画			実施																														
	実績																																	
デジタル化構想策定 (デジタル化推進室)	計画	実施																																
	実績																																	

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

行政手続の簡素化 におけるSDGsゴール



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくらう		推進項目	(3) 窓口サービスの充実	
取組番号	8	取組項目	オンライン手続の推進	担当所属名	広報情報課デジタル推進室


令和2年度の現況と課題	【現状】 平成17年1月から愛知県及び県内全市町村(名古屋市を除く)で組織する「あいち電子自治体推進協議会」で構築した電子申請・届出システムの運用を開始し、平成29年11月から本格運用が開始されたマイナポータルにおいて、電子申請サービスである「びったりサービス」が開始された。
	【課題】 令和2年12月25日に閣議決定された「デジタル・ガバメント実行計画」において、行政手続のオンライン化の推進が示されたこと、本市において電子申請化されている手続に限られていることから、申請・手続のオンライン化を進めていくことで窓口サービスを充実する必要がある。

取組目標	オンライン申請手続様式を増やす。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	申請手続様式数	計画	40件	50件	53件	56件	59件
実績							

方法・手段	本市で扱っている申請・手続のうち、オンライン化できるものについて担当課と調整し、申請・手続のオンライン化を進めていく。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	オンライン申請の受付	計画	実施				
		実績					
	申請・手続の調査・オンライン化	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

第7次行政改革アクションプラン取組項目におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	1 効率的で満足度の高い行政運営をするまちをつくろう	推進項目	(3) 窓口サービスの充実
取組番号	9	取組項目	電子図書館サービスの導入
		担当所属名	生涯学習推進課


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために図書館の利用を控えたり、利用するにあたっては短時間で本を選び帰宅する利用者が多い。また、時間的に図書館開館時間に来ることができないため、利用したいが利用できない人も潜在的に多いと思われる。</p> <p>【課題】 現状では、インターネットで書籍等の貸出予約をすることはできるが、書籍を受け取るために図書館へ来館しなくてはならない。</p>
-------------	---

取組目標	電子書籍を継続的に新しいコンテンツに更新し、魅力のある電子図書館サービスを導入する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	電子書籍冊数	計画	1,000冊	1,000冊	1,000冊	1,000冊	1,000冊
実績							

方法 手段	既存の図書館利用者カードの番号を使って利用者は自宅や外出先からインターネットを通じて電子書籍の検索・返却・閲覧できるよう、令和3年度中に電子図書館サービスを導入する。 導入後については、市ホームページ等で周知をし、利用者の増加を図る。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	電子図書館サービスの導入	計画	準備	実施			
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

電子図書館サービスの導入 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくらう		推進項目	(1) 歳入の積極的な確保	
取組番号	10	取組項目	市税収納率の向上	担当所属名	納税課


令和3年度の現況と課題	<p>【現状】 法人市民税の一部国税化により、令和3年度以降も市税収入の減少が見込まれており、歳入確保対策が喫緊の課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益や個人所得が減少し、市税の納付が困難となり、滞納者が増加している傾向である。</p> <p>【課題】 市税収入の確保と税負担の公平性の確保がより一層求められているため、滞納者への早期の納税相談、納税指導を積極的に行い、滞納額の累積防止と自主納付に結び付けることが重要であり、催告に応じず、納税意思の希薄な滞納者に対しては、早期に滞納処分を実施する必要がある。 (令和2年度実績 現年度分収納率:99.7%、滞納繰越分収納率:28.9%)</p>
	<p>市税の収納率の向上を図る。</p>

取組目標	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	現年度分収納率	計画	99.5%	99.5%	99.6%	99.6%	99.6%
		実績					
	滞納繰越分収納率	計画	20.0%	20.5%	21.0%	21.5%	22.0%
実績							

方法・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間滞納整理事業(春季、夏季、冬季)や、納税推進員による臨戸・電話催告を継続的に実施するとともに、休日滞納整理や夜間滞納整理を毎月1回実施する。 ・納税が困難な滞納者には、納税相談を実施する。 ・滞納者に早期の自主納付を促すことにより滞納額の蓄積を防止し、収納率の向上に取り組む。 ・納税意思の希薄な滞納者に対し、滞納処分を実施する。 							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	休日滞納整理・夜間滞納整理の実施	計画	実施					
		実績						
滞納処分の実施	計画	実施						
	実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

市税収納率の向上 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう		推進項目	(1) 歳入の積極的な確保		
取組番号	11	取組項目	税外収入の確保	担当所属名	所管課	


令和2年度の現行策定課題	<p>比較的高い収納率であるが、引き続き公平性確保の点から徴収に力を入れて滞納者が減るよう取り組むとともに滞納者が出ない環境の維持と滞納者への速やかな対応が必要である。</p> <p>[給食費収納率(現年):99.9%](学校教育課) [保育料収納率(現年):99.9%](子育て支援課) [後期高齢者医療保険料収納率(現年):99.9%](保険年金課) [住宅使用料(現年):99.5%](都市計画課)</p>
	<p>現在の収納率を維持または向上させる。</p>

取組目標	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	給食費収納率(現年) 【学校教育課】	計画	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%
		実績					
	保育料収納率(現年) 【子育て支援課】	計画	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%
		実績					
	後期高齢者医療保険料 収納率(現年) 【保険年金課】	計画	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%
		実績					
	住宅使用料(現年) 【都市計画課】	計画	98.4%	98.5%	98.6%	98.7%	98.8%
		実績					

方法・手段	<p>滞納者には、分割納付誓約書の提出とその履行確認を行う。 さらに滞納を繰り返す者に対しては、支払い督促などを行い、法律の規定に基づいた強制執行を実施する。</p>						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	文書、訪問、電話等による催告	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

税外収入の確保 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくらう		推進項目	(1) 歳入の積極的な確保		
取組番号	12	取組項目	広告収入の確保	担当所属名	財政課	


令和2年度アクションプランの現状と課題	<p>【現状】 財源の確保を目的に、平成23年度から広告掲載要綱を策定し、市の資産等を広告媒体として活用し、財源確保に取り組んでいる。</p> <p>【課題】 継続してより多くの財源を確保するため、新たな広告媒体の活用方法等の検討に取り組む必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 広告媒体数:10件、広告効果実績:4,331千円)</p>
---------------------	--

取組目標	広告の募集方法や掲載方法、広告料等の見直しにより、財源を確保する。また、新たな広告媒体の活用について検討する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	広告媒体の数	計画	10件	12件	14件	16件	18件
		実績					
	広告収入	計画	5,000千円	5,100千円	5,200千円	5,300千円	5,400千円
実績							

方法・手段	既存の広告媒体について、募集方法、掲載方法、広告料などの見直しを検討する。他の自治体などの取組も参考にし、新たな広告媒体を検討する。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	広告の募集・掲載	計画	実施					
		実績						
	広告の募集方法、掲載方法等の見直しや、新たな広告媒体の検討	計画	実施					
実績								

令和3年度取組実績	進捗度	評価					
	効果額	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	広告収入 ※R2年度4,331千円 対比	見込	669千円	769千円	869千円	969千円	1,069千円
		実績					

広告収入の確保 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう		推進項目	(1) 歳入の積極的な確保		
取組番号	13	取組項目	ふるさと納税の拡充	担当所属名	財政課	


令和2年度の現状と課題 アクションプラン策定時	<p>【現状】 応援、貢献したい地方自治体に寄附を行うふるさと納税制度により、財源を確保するため、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」・「ふるさとチョイス」・「楽天ふるさと納税」を活用し、ふるさと応援寄附金額の受付を行っている。</p> <p>【課題】 財源の継続的な確保、又は増額を図るため、返礼品等を拡充する必要がある。 クラウドファンディング等返礼品のない寄附募集等幅広い寄附受付を図る必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 寄附金額28,884千円、返礼品数72品)</p>
----------------------------	--

取組目標	ポータルサイト、返礼品等の拡充やクラウドファンディングの有効利用						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	寄附金額	計画	30,000千円	35,000千円	40,000千円	45,000千円	50,000千円
		実績					
	返礼品数	計画	70品	80品	100品	120品	150品
実績							

方法・手段	ポータルサイト数の増加 市内事業所の商品提供による返礼品数の増加 クラウドファンディングの有効活用							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	返礼品の拡充	計画	実施					
		実績						
	クラウドファンディングの活用	計画	実施					
実績								

令和3年度取組実績	進捗度						評価
	効果額	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	寄附金額 ※R2年度28,884千円 対比	見込	1,116千円	6,116千円	11,116千円	16,116千円	21,116千円
		実績					

ふるさと納税の拡充 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくる		推進項目	(1) 歳入の積極的な確保		
取組番号	14	取組項目	国・県補助金等の積極的な活用	担当所属名	財政課	

令和2年度アクションプランの現状と課題	【現状】 国・県補助金等の確保を図るため、予算要求時の補助金科目等の確認を徹底している。また、特定財源確保のため、年3回程度国等へ陳情書を提出している。
	【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響による税込減等による代替財源の確保と公共施設等の長寿命化への施設改修財源の確保が課題となっている。

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 国・県等への陳情活動を実施する。 国・県等補助金活用事業の拡大を図る。 						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	国等への要望書提出回数	計画	3回	3回	3回	3回	3回
		実績					
	新たに活用した補助金メニュー数	計画	2件	2件	2件	2件	2件
実績							

方法・手段	<ul style="list-style-type: none"> 国・県等への陳情活動を実施する。 補助対象事業の検討及び計画の策定を行う。 							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	国等への陳情	計画	実施					
		実績						
	補助対象事業の計画の策定	計画	実施					
実績								

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

第7次行政改革アクションプラン取組項目におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2 次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう	推進項目	(2) 受益者負担の適正化		
取組番号	15	取組項目	受益者負担の適正化	担当所属名	企画政策課




令和2年度のアクションプランの現状と課題	<p>【現状】 令和元年度に見直しを実施し、令和5年度の見直し実施まで、現行の料金体制を継続予定である。サービスの提供にかかる経費を基に、利用する人と利用しない人にとって公平な受益者負担を算定し、料金を設定している。</p> <p>【課題】 サービスの提供に係る経費は、社会経済情勢の変化等の影響によって変化するため、定期的な見直しを実施し、受益者負担の適正化を図る必要がある。 公共施設の長寿命化により維持管理費が増大し、使用料が上がる事が予想される。</p>
----------------------	---

取組目標	<p>4年に一度の見直しを継続して行う。 見直しに当たっては、サービスの提供にかかる経費の把握方法や、受益者負担と公費負担の適切な割合について等を検討し、市民の理解を得られるようなものとする。</p>
------	--

方法・手段	<p>サービスの提供にかかる経費の把握方法について、事業別・施設別の公会計を活用することを視野に入れ検討する。 「受益者負担と公費負担の適切な割合」、「経費算入する費用」及び「算定式」などを検討し、その結果を踏まえ、見直しの基本方針を策定し、見直しを実施する。</p>																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組計画</th> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基本方針の策定</td> <td>計画</td> <td colspan="2">検討</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">受益者負担の見直し</td> <td>計画</td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	基本方針の策定	計画	検討		実施			実績						受益者負担の見直し	計画			実施			実績					
取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7																												
基本方針の策定	計画	検討		実施																														
	実績																																	
受益者負担の見直し	計画			実施																														
	実績																																	

令和3年度取組実績	<table border="1"> <tr> <td>進捗度</td> <td></td> <td>評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="height: 100px;"></td> </tr> </table>	進捗度		評価					
進捗度		評価							

受益者負担の適正化 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくる		推進項目	(3) 補助金の適正化	
取組番号	16	取組項目	補助金等の見直し	担当所属名	企画政策課


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 平成30年度に見直しを実施し、令和4年度の見直し実施まで現行を継続する予定である。</p> <p>【課題】 補助金等（補助金、助成金及び交付金）は、市が公益上の必要性を認めた場合に、市民や団体が実施する活動等に対する財政支援であり、市が行う施策を効果的に推進する上で重要な役割を果たしているが、一方で、補助金等が既得権化し、その交付が長期化かつ固定化しやすい傾向にあり、交付団体の自立を阻害する要因にもなっている。また、補助金等の交付を受けることが目的化しているものも散見される。</p>
-------------	--

取組目標	<p>4年に一度の見直しを継続して行う。 補助金の減額や廃止を目的とするのではなく、行政と市民の適切な役割、必要性や有効性について改めて検討し、市民ニーズや社会経済情勢等の変化に対応した補助金制度となるようにする。</p>
------	---

方法手段	<p>各補助金の性質や目的、事業の活動内容や成果などを分析し、見直しの視点や進め方を検討する。 検討した結果を踏まえ、見直しの基本方針を策定し、見直しを実施する。</p>																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取組計画</th> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基本方針の策定</td> <td>計画</td> <td>検討</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td>検討</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補助金等の見直し</td> <td>計画</td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	基本方針の策定	計画	検討	実施			検討	実績						補助金等の見直し	計画		実施				実績					
取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7																												
基本方針の策定	計画	検討	実施			検討																												
	実績																																	
補助金等の見直し	計画		実施																															
	実績																																	

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

補助金等の見直し におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう	推進項目	(4) 市有財産の適切な管理・運用
取組番号	17	取組項目	再生可能エネルギーの導入
		担当所属名	環境課


令和2年度のアクションプランの現状と課題	【現状】 再生可能エネルギー(太陽光発電設備)導入済み施設 市役所、サンライブ、カリヨンハウス、市民病院、おかよし交流センターの5施設
	【課題】 公共施設での再生可能エネルギーを積極的に導入し、地域の更なるCO2の削減の実現と災害時への対応力の強化を図る必要がある。

取組目標	公共施設の更新時などに合わせ積極的に再生可能エネルギーを導入する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	再生可能エネルギー導入施設数	計画	0施設	1施設	1施設	0施設	0施設
実績							

方法 手段	市内の再生可能エネルギーの賦存量等の調査を実施する。 公共施設の更新時に合わせ、再生可能エネルギーを導入する。 (仮称)みなよし地区拠点施設(令和3・4年度基本設計・実施設計、R5年度工事着工予定) 防災倉庫(令和3年度設計、令和4年度建設)						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	再生可能エネルギー賦存量等調査	計画	実施				
		実績					
	公共施設の更新時の再生可能エネルギー導入	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

再生可能エネルギーの導入 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなく財政運営をするまちをつくろう		推進項目	(4) 市有財産の適切な管理・運用		
取組番号	18	取組項目	公共施設等の総合的かつ計画的な管理	担当所属名	財政課	


令和2年度アクションプランの現状策定課題	<p>【現状】 平成29年3月に策定した「みよし市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の長寿命化を図るため、各施設の劣化状況の点検を行い、その結果を参考に個別施設計画を作成した。</p> <p>【課題】 公共施設等(市が所有する全ての公共建築物と土木インフラ全体をいう。)が、今後大量に更新時期を迎えるが、新型コロナウイルスや税制改正により、財政状況は今後厳しい状況が見込まれる。そのため、長期的な視点から公共施設等の更新・統廃合・長寿命化を計画的に行う必要がある。</p>
	<p>「みよし市公共施設等総合管理計画」に基づき、作成された個別施設計画を推進する。</p>

取組目標	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	各施設管理者による日常点検の実施	計画	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
		実績					
	公共施設等総合管理計画に基づく長寿命化施設改修数	計画	11施設	14施設	20施設	25施設	22施設
実績							

方法・手段	<p>個別施設計画の推進により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の現況把握、更新を計画的に実行する。 ・公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実行する。 ・施設類型毎(公共建築物、土木インフラ等)の管理を適正に行う。 ・個別施設計画を取りまとめた公共施設等総合管理計画の改定を行う。 						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	個別施設計画の推進	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	
	<p> </p>			

公共施設等の総合的かつ計画的な管理 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう	推進項目	(4) 市有財産の適切な管理・運用		
取組番号	19	取組項目	基金の計画的な運用	担当所属名	財政課


令和2年度 アクション プラン 策定 課題	<p>【現状】 特定の目的基金については、事業の実施内容により必要額を財源として活用している。 財政調整基金については、必要に応じ不足財源として活用している。 各基金の目標積立額を設定し、積立を実施している。</p> <p>【課題】 今後、地方税の減収により、基金の取り崩し額の増加が見込まれる。 計画的な目的基金の運用により、財源確保を図る必要がある。</p>
-----------------------------------	---

取組 目標	中長期財政計画による計画的な基金の運用及び各事業へ効果的な充当を行う。 中長期財政計画の見直し時に基金の積立計画の見直しを行う。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	中長期財政計画の見直し	計画	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
		実績					
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	基金の積立計画の見直し	計画	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
実績							

方法 手段	実施計画時に事業内容を精査する。 当初予算査定時に事業内容を精査する。 中長期財政計画の見直しを行う。 基金等の適正な目標額の設定を行う。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	中長期財政計画の見直し	計画	実施					
		実績						
	査定時の事業内容の精査	計画	実施					
		実績						

令和3年度 取組 実績	進捗度		評価	

基金の計画的な運用 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう		推進項目	(5) 公営企業及び特別会計の健全な運営	
取組番号	20	取組項目	下水道事業の健全な運営	担当所属名	下水道課


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 本市の下水道事業は、施設の老朽化に伴う更新費用の増大等により経営環境が厳しさを増してきている状況にある。そのため、経営状況を明らかにすることができる公営企業会計方式を令和元年度から導入し、現状分析及び将来予測に基づく経営戦略を令和2年度に策定するなどして、持続可能な下水道サービスを供給するための経営基盤の整備を行ったところである。</p> <p>【課題】 今後は、純損益の赤字(収支ギャップ)の解消に向けて、経営戦略に基づく取組等を実施し、進捗状況の管理と見直し・改善を継続して実施していくことが課題となっている。</p> <p>[下水道使用料収納率(現年分):99.6%]</p>
-------------	--

取組目標	経営戦略に基づく取組等を実施し、純損益の赤字(収支ギャップ)を減少させる。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	下水道使用料収納率(現年分)	計画	99.6%	99.6%	99.6%	99.6%	99.6%
実績							

方法・手段	<p>純損益の赤字(収支ギャップ)の解消に向けた経営戦略に基づく取組として、収入面においては、平成15年度以降改定を行っていない下水道使用料について、5年に1回は見直しの必要性について検討することとしているため、適正な使用料について検証し、改定の必要性について検討する。</p> <p>また、支出面では、汚水処理の効率化を図るため、農業集落排水施設及びコミュニティ・プラントを将来的に廃止して公共下水道に接続することを推進し、経費の削減を図る。</p>						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	適正な下水道使用料の検証	計画	検討		実施	検討	
		実績					
農業集落排水施設及びコミュニティ・プラントを公共下水道に接続	計画	準備					
	実績						

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

下水道事業の健全な運営 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2 次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう	推進項目	(5) 公営企業及び特別会計の健全な運営
取組番号	21	取組項目	新公立病院改革プランの推進
		担当所属名	市民病院


令和2年度の現状と課題 アクションプラン策定時	<p>【現状】 公立病院は地域医療確保のため重要な役割を果たしているが、多くの病院で経営状況の悪化や医師不足等により医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっている。</p> <p>【課題】 総務省は公立病院改革ガイドラインを示し、公立病院改革プランを策定するよう求めている。令和2年度において次期ガイドラインは未発表だが、平成29年度に策定した現行プランの計画期間が終了することから、次期改革プランを策定し引き続き経営改善に取り組む必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 経常収支比率:98.4%、一般病床稼働率:66.0%、療養病床稼働率:77.5%、一日平均外来患者数:292.6人)</p>
----------------------------	--

取組目標	<p>今後も地域の医療機関として必要な医療機能を備えた体制を整備するとともに、経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指すため、公立病院改革プランを策定し、経営改善に取り組む。</p>						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	経常収支比率	計画	101.2%	100.6%	101.9%	104.5%	105.6%
		実績					
	一般病床稼働率	計画	72.0%	77.0%	82.0%	85.0%	85.0%
		実績					
	療養病床稼働率	計画	83.0%	85.0%	87.0%	89.0%	91.0%
実績							
一日平均外来患者数	計画	310人	320人	330人	340人	350人	
	実績						

方法・手段	<p>総務省が示す公立病院改革ガイドラインや、県が策定する地域医療構想を踏まえた中期経営計画「みよし市民病院改革プラン2021」を策定。市民病院の現状と課題、役割や経営ビジョンを明確にし、具体的な経営目標や取組項目等を定めて実践・点検・評価を行うことで経営改善を進める。総務省が次期ガイドラインを発表した際には、齟齬のある点について必要な修正を行う。</p>							
		年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	収支計画	計画	実施					
		実績						
	成果指標、取組項目	計画	実施					
実績								
一般会計負担金のあり方	計画	実施						
	実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

新公立病院改革プランの推進 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2次代へつなぐ財政運営をするまちをつくる		推進項目	(5) 公営企業及び特別会計の健全な運営	
取組番号	22	取組項目	国民健康保険特別会計の健全な運営	担当所属名	保険年金課 納税課 健康推進課

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 国民健康保険においては、失業者や低所得者、年齢層の比較的高い加入者が多く、近年の高度医療の普及に伴う医療費の増大により、財政運営は大変厳しいものになっている。</p> <p>【課題】 国民健康保険特別会計の健全な運営を目指すには、医療費動向及び平成30年度からの県単位化に伴う標準保険料率の導入に応じた保険料率の見直しとともに、保険料の収納率向上に努め、各種補助金・交付金の適正な申請・交付、また医療費削減など医療費の適正化による支出の抑制を図る必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 保険料収納率94.9%、特定健康診査受診率32.1%(見込))</p>
-------------	---

取組目標	収入の安定化を図るための保険料の収納率向上対策の実施ならびに被保険者に対する生活習慣病の早期発見や重症化予防を目的とした特定健康診査の受診勧奨の実施など、将来を見据えた医療費削減対策の実施により、事業の健全な運営を図る。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	保険料収納率(現年分)	計画	93.0%	93.0%	93.1%	93.1%	93.1%
		実績					
	特定健康診査受診率	計画	52.0%	56.0%	60.0%	60.0%	60.0%
実績							

方法・手段	収入においては、徴収担当部門と共同し、夜間及び市外滞納整理等を実施することにより、保険料の収納率向上を図る。 支出においては、被保険者に対し、特定健康診査の受診勧奨を実施し、病気の早期発見、早期治療をすることで被保険者の健康維持、医療費の削減を図り健全な事業運営を行う。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	夜間及び市外滞納整理の実施	計画	実施				
		実績					
	特定健康診査受診勧奨の実施	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

国民健康保険特別会計の健全な運営 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	2 次代へつなぐ財政運営をするまちをつくろう	推進項目	(5) 公営企業及び特別会計の健全な運営
取組番号	23	取組項目	介護保険特別会計の健全な運営
		担当所属名	長寿介護課

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 75歳以上の後期高齢者の増加に伴い要介護等認定者が増加しており、保険給付費も増大傾向にある。介護保険事業は主に公費と被保険者から徴収する介護保険料を財源に運営されており、長期滞納者は普通徴収者の5%程度である。介護保険料を長期滞納することで、被保険者間の公平性の保持を妨げることとなっており、また滞納者本人に対する給付制限にもつながっている。</p> <p>【課題】 今後も介護保険料の収納対策を継続し、保険料収納率の向上を行うとともに、介護予防事業に取り組むことで介護給付費の増大を抑制する必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 介護保険料収納率98.9%、介護予防教室の実施回数324回)</p>
	<p>今後、高齢者の増加に伴い被保険者が増加するため、現在の介護保険料の収納率を向上させる。介護予防事業を推進して個々の高齢者の重度化を予防し、介護給付費の支出抑制を図る。</p>

取組目標	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	介護保険料収納率(全体)	計画	99.0%	99.0%	99.1%	99.1%	99.2%
		実績					
	介護予防教室の実施	計画	595回	595回	620回	620回	645回
実績							

方法手段	<p>被保険者への口座振替の勧奨、滞納者への納付勧奨(個別訪問、郵送)の実施、納付誓約の実施、初期未納者を中心とした訪問催告など収納率の向上が見込まれる取組を実施する。 介護予防事業を推進して個々の高齢者の重度化を予防することにより、将来的に要介護認定者となる方の人数を減らし、介護給付費等の支出抑制を図る。</p>							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	口座振替勧奨、催告、納付誓約の実施	計画	実施					
		実績						
介護予防事業の実施	計画	実施						
	実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

介護保険特別会計の健全な運営 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(1) 市民との協働の推進	
取組番号	24	取組項目	防災リーダー、防災ボランティアコーディネーターの養成	担当所属名	防災安全課

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 南海トラフを震源とする大地震の発生が危惧される中で、市民の防災への関心はまだ低い。そのため、地域防災の核として、地域で活動いただける防災リーダーの養成講座を開催している。また災害時にボランティアをスムーズに受け入れるため、防災ボランティアコーディネーターの養成講座を開催している。</p> <p>【課題】 防災リーダー養成講座への受講者は年々減少している。 また、防災ボランティアコーディネーター養成講座においても受講者は年々減少している。</p> <p>(令和2年度実績 防災リーダーの人数116人、防災ボランティアコーディネーター136人)</p>
-------------	--

取組目標	両講座の受講修了者の増加						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	防災リーダーの人数	計画	120人	125人	130人	135人	140人
		実績					
	防災ボランティアコーディネーターの人数	計画	145人	155人	165人	175人	180人
		実績					

方法・手段	協働事業者であるNPO法人などと講座内容を協議し、講座資料を作成する。 広報等で受講者の募集を行い、講座を開催する。 研修における課題をまとめ、次回の講座に反映させる。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	防災リーダー養成講座の開催	計画	実施					
		実績						
	防災ボランティアコーディネーター養成講座の開催	計画	実施					
		実績						

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

防災リーダー、防災ボランティアコーディネーターの養成 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(1) 市民との協働の推進		
取組番号	25	取組項目	市民活動団体の活動支援	担当所属名	協働推進課	

令和2年度の現状と課題 アクションプラン策定時	<p>【現状】 市民活動団体の主体的及び自発的なまちづくりに取り組む公益活動を支援することを目的に行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体に交付しているがんばる地域応援補助金について、令和3年度からはより小規模な公益活動に対しても補助金を交付できるように補助制度の拡充を図る。 また、市民活動サポートセンターの運営を通して市民活動の活性化と協働のパートナーの育成を図っている。</p> <p>【課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されているため、新たな生活様式の中においても市民活動が停滞することなく実施できるような対策が必要となっている。</p> <p>(令和2年度実績 がんばる地域応援補助事業実施件数 4件、市民活動サポートセンター登録団体数 50団体)</p>
----------------------------	--

取組目標	がんばる地域応援補助金制度の活用を推進する。 市民活動サポートセンターの機能充実を図る。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	がんばる地域応援補助事業実施件数	計画	9件	9件	11件	9件	9件
		実績					
	市民活動サポートセンター登録団体数	計画	50団体	55団体	60団体	61団体	62団体
実績							

方法 手段	市民活動サポートセンターにおいて、協働相談をはじめ、市民活動団体の情報整理・情報発信、団体活動の活性化やコロナ禍における活動の展開について情報交換をするための交流会を開催することで団体の活動を支援する。 がんばる地域応援補助制度を広く周知するとともに、活動事例を紹介することで、行政区や地区コミュニティ推進協議会が抱える地域課題を共に解決することができる市民活動団体の育成とより手軽に公益活動を始めることができる環境整備を図る。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	市民活動サポートセンター運営	計画	実施					
		実績						
	協働相談窓口の設置	計画	実施					
実績								

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

市民活動団体の活動支援 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(1) 市民との協働の推進	
取組番号	26	取組項目	地域・市民との協働の連携強化	担当所属名	協働推進課

令和2年度のアクションプランの現状と課題	<p>【現状】 行政区及び地区コミュニティ推進協議会が行う様々な地域活動を推進する上で、市民活動を実施するNPO法人・ボランティア・市民活動団体との協働は必要であり、がんばる地域応援補助金の交付や市民活動サポートセンターの運営を通して活動支援を行っている。</p> <p>【課題】 地域が抱える様々な課題を、NPO法人や市民活動団体などとの協働により解決するためには、その活動は一過性なものではなく、持続可能なものでなければならず、そのためには、地域が抱える課題や活動方針、活動内容を正しく理解し、同じ方向性を持ったパートナーを地域で選定できる体制が必要である。</p> <p>(令和2年度実績 がんばる地域応援補助事業実施件数 4件、NPOとの協働で行う事業件数 19件)</p>
	<p>市民・地域との情報交換や情報共有、活動を通して、持続可能な協働事業の実現を目指す。</p>

取組目標	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	がんばる地域応援補助事業実施件数	計画	9件	9件	11件	9件	9件
		実績					
	NPOとの協働で行う事業件数	計画	23件	23件	23件	23件	23件
実績							

方法 手段	<p>持続可能な協働事業の実施に向け、ワークショップの開催や協働事業の適切なパートナーを選定することができる人材を育成する研修事業を実施する。 地域の人材を活用した市の協働事業の業務支援に、ワークショップや人材研修における成果を反映させ、持続可能な協働事業に繋げていく。</p>							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	ワークショップや研修事業の開催	計画	実施					
		実績						
地域の人材を活用した市の協働事業の業務支援	計画	実施						
	実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

地域・市民との協働の連携強化 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう	推進項目	(1) 市民との協働の推進		
取組番号	27	取組項目	地域と一体となった伝統芸能などの伝承	担当所属名	資料館


令和2年度アクションプランの現状と課題	<p>【現状】 市内にはお囃子や棒の手、巫女舞といった、古くから受け継がれてきた伝統芸能が各地域に伝わっている。それぞれの地域では、これらの伝統芸能を次代へ受け継ぐための伝承活動が行われている。こういった活動を広く市民に周知する機会として、郷土芸能伝承活動発表会を毎年開催している。</p> <p>【課題】 近年は少子化などの影響により、各地域で保存活動をしている団体の構成員数や年齢・性別比率に変化がみられる。こういった地域の現状を踏まえ、市民に伝統芸能を広くPRするとともに、各団体の伝承活動をサポートしていくことが求められている。</p> <p>(令和2年度実績 共働芸能伝承活動発表会 0人(開催中止のため)、補助金交付団体数 8団体)</p>
---------------------	--

取組目標	市民に広く伝統芸能についてPRするため、郷土芸能伝承活動発表会を継続実施していく。また各団体の伝承活動をサポートするため、補助金を交付していく。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	郷土芸能伝承活動発表会の観覧者数	計画	750人	800人	800人	800人	800人
		実績					
補助金交付団体数	計画	8団体	8団体	8団体	8団体	8団体	
	実績						

方法・手段	各地域に受け継がれている伝統芸能を広くPRするための郷土芸能伝承活動発表会を広く周知し、より多くの市民に観覧してもらう。伝統芸能を次代に伝えていくための活動をサポートするため、補助金を交付する。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	郷土芸能伝承活動発表会の開催	計画	実施				
		実績					
補助金交付	計画	実施					
	実績						

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

地域と一体となった伝統芸能などの伝承 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(2) 民間活力の積極的な活用	
取組番号	28	取組項目	地域包括支援センターの民間委託の推進	担当所属名	長寿介護課

令和2年度の現況と課題	<p>【現状】 現在、市内の日常生活圏域は3か所(きたよし地域、なかよし地域、みなよし地域)を設定しており、それぞれの圏域に地域包括支援センターを設置している。きたよし地域包括支援センターとなかよし地域包括支援センターの運営主体は、社会福祉法人に委託しており、みなよし地域包括支援センターは市の直営で運営している。</p> <p>【課題】 今後、きたよし地域包括支援センターが担当しているきたよし地域の高齢者人口が他地域に比べ急速に増加することが見込まれるため、日常生活圏域の分割と地域包括支援センターの整備が課題である。</p> <p>(令和2年度実績 地域包括支援センター数 3か所、民間へ委託する数 2か所)</p>
-------------	---

取組目標	きたよし地域を分割し、おおよし地域として1圏域追加する。地域包括支援センターは日常生活圏域ごとに設置するため、新しく運営主体を公募し民間へ委託する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	地域包括支援センター数	計画	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		実績					
	民間へ委託する数	計画	2か所	3か所	3か所	3か所	3か所
実績							

方法手段	<p>令和3年5月、おおよし地域包括支援センターを運営する事業者を公募し選定するための選定委員会を設置する。委員の内訳は、福祉部、市民協働部職員及び地域包括支援センター運営協議会委員から充てる。令和3年8月に選定委員会を開催し事業者を選定したのち、地域包括支援センター運営協議会で承認をいただき決定する。設置場所については、カリヨンハウス内の多目的室2とする。</p> <p>令和3年4月から7月まで、改修工事の設計委託を行い、令和3年10月から令和4年2月まで改修工事を行う。令和4年4月1日開所とする。</p>						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	おおよし地域包括支援センターの整備	計画	公募・準備	実施			
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

地域包括支援センターの民間委託の推進 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(2) 民間活力の積極的な活用	
取組番号	29	取組項目	生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援の推進	担当所属名	福祉課

令和2年度の現況と課題	【現状】 生活困窮世帯や生活保護受給世帯等では、保護者の就学や進学への関心が低かったり、生活習慣が不規則で学習習慣が身につけていないために基礎学力が不足し、高校進学を断念したり、高校進学後に中退する可能性が高く、就労で不利になるなど、社会的な貧困の連鎖の問題が生じており、長期休みに三好未来塾を実施している。
	【課題】 学習支援だけでなく、孤立からの脱却、居場所としての役割を果たせるよう配慮し、支援員とのコミュニケーションから人間関係の醸成、相談相手の確保等、継続的な対応の実施が必要とされている。本市においては、長期休みを除く通常時の学習支援施策がないため、体制整備が急務であり、令和3年度4月から通常時における事業の委託を開始する。

取組目標	同一の法人及び支援員による長期に渡る支援や居場所づくりを行うために、生活困窮世帯等を対象とした学習・生活支援業務を委託する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	登録した者の参加率	計画	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	80.0%
		実績					
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	進学を希望する中3の参加者の高等学校等への進学率	計画	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%
実績							

方法・手段	生活困窮世帯やひとり親世帯等の子供に対し、学習・生活支援が継続して行えるよう、熱意があり、発達障がい等を抱える者への対応に精通した支援員を有する法人に事業を委託する。						
	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援 週1回2時間程度 通所方式で大学生ボランティア等を活用した学習支援 相談支援 適宜 学習、進路及び生活全般に関する相談支援 生活支援 年3回以上 調理やフィールドワーク等を通じた生活力向上の支援 						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	生活困窮世帯等の子どもの学習・生活支援事業の民間委託	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援の推進におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(2) 民間活力の積極的な活用	
取組番号	30	取組項目	障がい者等サポートセンター事業の実施	担当所属名	福祉課



令和2年度アクションプランの現状と課題	【現状】 令和元年6月、川崎市や東京都練馬区の事件を受け、厚生労働省から「ひきこもりの状態にある方やその家族から相談があった際の自立相談支援機関における対応について」(地域福祉課長通知)が発出され、各自治体において相談を確実に受け止め、丁寧に寄り添う対応をするよう国から要請されている。また、令和2年5月末、市内にあった精神疾患を有する方のデイサービス事業所が閉鎖し、通う場所が市内にない状況である。
	【課題】 精神疾患を有する方の相談及び活動支援を実施する必要がある。令和3年度4月から旧障がい者福祉センターの跡地を活用した委託事業を開始する。

取組目標	同一の法人及び支援員による長期に渡る支援や居場所づくりを行うために、ひきこもりの状態にある方等やその家族の相談及び活動支援業務を委託する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	新規相談者のうち、ひきこもり状態にあった者の割合	計画	3.0%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%
		実績					
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	活動支援に登録した者の参加率	計画	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	80.0%
実績							

方法・手段	ひきこもりの状態にある方や精神疾患のある方、その家族に対し、相談及び活動支援が継続して行えるよう、熱意があり、ひきこもりの状態にある方等への対応に精通した支援員を有する法人に事業を委託する。						
	<ul style="list-style-type: none"> 対象者及びその家族との電話、窓口、訪問等による相談支援 対象者の実態把握、支援機関等の情報収集と発信 関係機関との連携及び支援ネットワーク構築のための会議設置 対象者に対する創作や軽作業等の活動支援 						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	ひきこもりの状態にある方等の相談、活動支援事業の委託	計画	実 施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

障がい者等サポートセンター事業の実施 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくる	推進項目	(2) 民間活力の積極的な活用		
取組番号	31	取組項目	公共施設の包括管理の検討	担当所属名	財政課


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 各施設管理者において、個別に施設の点検業務等の維持管理を行っている。 各施設管理について、個別に施設の業務委託を行っている。</p> <p>【課題】 「予防保全」により施設の長寿命化を推進し、財政負担の縮減・平準化に取り組む必要がある。 各施設縦割りで管理するのではなく、市全体で包括的な管理を検討する必要がある。</p>
-------------	---

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> 全公共施設についての包括管理を検討する。 各公共施設の委託業務を集約化する。 						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	包括管理の検討	計画	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年
		実績					
	新たに包括管理を行った施設数	計画			1施設	1施設	1施設
実績							

方法手段	<ul style="list-style-type: none"> 包括管理の導入を検討する。 従来管理との費用対効果を算出する。 各公共施設の管理業務の洗出しと包括管理等の検討をする。 						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	包括管理の検討・運用	計画	検討			実施	
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

公共施設の包括管理の検討 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(3) 近隣市町との連携	
取組番号	32	取組項目	広域消防の適正運営	担当所属名	防災安全課


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 常備消防は日進市、東郷町の3自治体で昭和48年度に尾三消防組合を組織し、平成30年度に豊明市、長久手市を含み広域化し、5自治体で組織することとなった。</p> <p>【課題】 消防力の更なる向上、尾三消防組合の適正運営を図る必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 部課長会議開催数3回、派遣職員数1人)</p>
	<p>職員派遣、部課長会議と通し、尾三消防組合のガバナンスを図る。</p>

取組目標	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	部課長会議開催数	計画	2回	2回	2回	2回	2回
		実績					
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	派遣職員数	計画	1人	1人	1人	1人	1人
		実績					

方法・手段	構成市町部課長会議に参加し、尾三消防組合の適正運営に参画する。職員を派遣し、ガバナンスを強化する。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	構成市町部課長会議への参加	計画	実施					
		実績						
	尾三消防組合への職員派遣	計画	実施					
		実績						

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

広域消防の適正運営 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう	推進項目	(4) 企業・大学等との連携
取組番号	33	取組項目	協定を結んでいる企業・大学との連携
		担当所属名	企画政策課

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 防災や地方創生など、様々な行政分野において、協定の締結をし企業や大学との連携を推進している。</p> <p>【課題】 連携事業が固定化され、その効果が薄れつつある。その時々々の社会・経済情勢を鑑みた連携事業を推進する必要がある。 連携先の要望に他課の案件があれば交通整理をする必要がある。</p>
-------------	--

取組目標	<p>連携している事業について、内容をブラッシュアップし、継続実施をする。 企業や大学が持つ知的・人的資源などを活用することで、新たな連携事業を検討する。</p>
------	---

方法手段	<p>各行政分野で抱える課題の解決に向けて、企業や大学等有する様々なノウハウや資源の積極的な活用が効果的であることから、連携を一層推進していく。 企業や大学との連携に係る情報を全庁的に共有する。 担当課と事業内容を共有することで、連携の効果が企業・大学にも還元できるようにする。</p>																				
	<table border="1"> <tr> <td>取組計画</td> <td>年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">連携事業の推進</td> <td>計画</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">実施</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	連携事業の推進	計画	実施					実績					
取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7															
連携事業の推進	計画	実施																			
	実績																				

令和3年度取組実績	<table border="1"> <tr> <td>進捗度</td> <td></td> <td>評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="height: 150px;"></td> </tr> </table>	進捗度		評価					
進捗度		評価							

協定を結んでいる企業・大学との連携 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	3 多様な主体との連携を推進するまちをつくらう		推進項目	(4) 企業・大学等との連携		
取組番号	34	取組項目	ホームタウンパートナーチームとの連携	担当所属名	スポーツ課	

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 ホームタウンパートナーチームは、2011年10月に名古屋グランパス、2017年10月にトヨタ自動車サンホークス、2018年7月にアドマテックス・スフィアーズ、2020年10月にトヨタ自動車ヴェルブリッツの4チームとなっている。</p> <p>【課題】 みよし市における成人の週1回以上のスポーツ実施率は、45.8%(令和2年度)で、成人週1回以上のスポーツ実施率の目標を65%としていることから、トップスポーツチームやアスリートに市民が触れ合うことで、身近に感じ、感動や憧れが生まれ、応援したくなり、自らスポーツをやってみたくなるような働きかけを図り、スポーツへの興味関心を高める必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 成人の週1回以上のスポーツ実施率:45.8%(目標値65%)、年1回以上競技場に行きスポーツ観戦を行った者の割合:23.7%(目標値40%))</p>
-------------	--

取組目標	近隣や市内で行われるホームタウンパートナーの公式戦、大会などを広く周知するとともに情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	週1回以上のスポーツ実施率	計画	49.0%	53.0%	57.0%	61.0%	65.0%
		実績					
	年1回以上競技場に行きスポーツを観戦を行った者の割合	計画	28.0%	31.0%	34.0%	37.0%	40.0%
実績							

方法・手段	近隣や市内で行われるホームタウンパートナーの公式戦、大会などを広く周知するとともに市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。また、市内の関係団体等に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	情報発信、連携・交流の機会のマッチング	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

ホームタウンパートナーチームとの連携 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう	推進項目	(1) 機能的な行政組織の構築		
取組番号	35	取組項目	柔軟で機動的な組織の見直し検討	担当所属名	企画政策課 人事課

令和2年度アクションプランの現状と課題	<p>【現状】 平成28年度の機構改革により現在の組織・機構としている。</p> <p>【課題】 本市を取り巻く社会情勢の変化により、現組織がそれに対応できる組織であるか検証する必要がある。社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対応するため、必要に応じて柔軟に組織・機構を見直すことが求められている。</p>
---------------------	--

取組目標	<p>本市を取り巻く社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに迅速に対応するため、現組織の検証をし、必要に応じて、効果的かつ効率的な組織体制の構築と事務分掌の見直しを実施する。</p>
------	--

方法・手段	<p>社会情勢の変化に対応できる組織であるかなど、現組織のあり方について検証をする。効果的・効率的に業務を遂行するため、組織・機構の見直しをする。見直しに伴い、部設置条例、規則、規程、要綱等の整備について人事課との協議をする。</p>																				
	<table border="1"> <tr> <td>取組計画</td> <td>年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現組織の検証</td> <td>計画</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">実施</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	現組織の検証	計画	実施					実績					
取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7															
現組織の検証	計画	実施																			
	実績																				

令和3年度取組実績	<table border="1"> <tr> <td>進捗度</td> <td></td> <td>評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="height: 150px;"></td> </tr> </table>	進捗度		評価					
進捗度		評価							

柔軟で機動的な組織の見直し検討 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう		推進項目	(1) 機能的な行政組織の構築		
取組番号	36	取組項目	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業実施の推進	担当所属名	保険年金課 健康推進課 長寿介護課	

令和2年度の現況と課題	【現状】 高齢者の保健事業と介護予防の取組の実施主体はこれまで異なっており、健康状況や生活機能の課題に対して一体的に対応できていない状況であったため、令和3年度から保健事業と介護予防の一体的実施に取り組むこととなった。
	【課題】 75歳以上の後期高齢者を対象に、地域の健康課題の分析結果を基にした、加齢に伴う心身の活力低下状態「フレイル」改善のための保健指導や通いの場を活用した教育・相談など、高齢者の健康維持のための支援を一体的に実施し、健康寿命の延伸を図る必要がある。令和3年度は試行的に市内日常生活1圏域にて実施し、事業検証したうえで、令和4年度以降、おおよし圏域を加えた市内全域4圏域にて本格運用を開始する。

取組目標	医療レセプト、健康診査、介護レセプトのデータ分析を行い、事業対象者の抽出、地域の健康課題の把握を行う。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	フレイル重度化予防の指導件数	計画	5件	20件	24件	28件	32件
		実績					
	通いの場への専門職の訪問数	計画	1か所	4か所	4か所	8か所	8か所
		実績					
	後期高齢者健康診査受診率	計画	36%	38%	40%	40%	40%
実績							

方法・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療広域連合や庁内関係課(健康推進課、長寿介護課、保険年金課など)で事業実施に向けての調整を行う。 ・分析結果に基づく事業対象者についてフレイル重度化予防に関する個別指導を実施する。 ・通いの場を利用し、保健指導・教育・相談事業を開催する。 						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	庁内会議の開催	計画	設置	実施			
		実績					
	フレイル重度化予防事業の実施	計画	仮実施	検証	仮実施	実施	
実績							
通いの場の整理	計画	検討	実施				
	実績						

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業実施の推進

におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう	推進項目	(2) リスクマネジメント体制の強化
取組番号	37	取組項目	大規模地震に備えた災害対策の推進
		担当所属名	防災安全課

令和2年度アクションプランの現状と課題 策定時期	【現状】 大規模な災害の発生が危惧される中で、過去の教訓や、今後発生が予想される災害の被害予測などを踏まえた対策が必要である。
	【課題】 災害に対する職員の意識の低さが顕著にみられる。 市民においても、みよし市が災害の少ない地域のため、災害に対する意識が低い。 (令和2年度実績 職員向けの訓練・研修回数4回、防災講演会の回数0回)

取組目標	災害対策に関する職員に対する訓練・研修の実施						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	職員向けの訓練・研修回数	計画	3回	3回	3回	3回	3回
		実績					
	防災講演会の回数	計画	1回	1回	1回	1回	1回
実績							

方法・手段	職員に対して災害対策に関する訓練及び研修を実施する。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	災害に対する職員研修・訓練	計画	実施					
		実績						
	防災講演会の開催	計画	実施					
実績								

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

大規模地震に備えた災害対策の推進 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう		推進項目	(2) リスクマネジメント体制の強化		
取組番号	38	取組項目	情報セキュリティに対するリスクマネジメントの強化	担当所属名	広報情報課デジタル化推進室	


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 マイナンバー利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系の3つのネットワークを分離するネットワークの三層分離や、マイナンバー利用事務系へのパスワード、生体認証等による二要素認証、インターネット接続口を愛知県で集約するあいち情報セキュリティクラウドへ移行する等の情報セキュリティ対策を実施している。</p> <p>【課題】 今後も国等が示すセキュリティ対策に関するガイドライン等に合わせて対応していく必要があるが、情報セキュリティインシデントを起こさないために物理的な環境を整備するだけでなく、職員の情報セキュリティへの意識を促す必要がある。</p>
	<p>情報セキュリティインシデントを起こさない。</p>

取組目標	情報セキュリティインシデントを起こさない。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	インシデント件数	計画	0件	0件	0件	0件	0件
実績							

方法・手段	規定されたUSBメモリ以外の外部記憶媒体の使用を認めない、情報資産の管理徹底、ウイルス対策ソフトのウイルス定義ファイルを常に最新化すること等により、データ流出及びウイルス感染等の情報セキュリティインシデントを未然に防ぐ。 また職員への意識向上のために、あいち電子自治体推進協議会の共同事業である訓練を実施すること、市民向けにインターネットに公開している各システムに対して同じく共同事業である外部監査を行いセキュリティ対策を最新化することでインシデントを未然に防ぐ。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	セキュリティ対策の実施	計画	実施				
実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	
	(This area is currently blank in the provided image)			

情報セキュリティに対するリスクマネジメントの強化 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう	推進項目	(3) 行政需要に応じた人事配置
取組番号	39	取組項目	適正な人事配置
		担当所属名	人事課


令和2年度の現況と課題	<p>【現状】 第5期職員定員管理計画(令和元年度から令和5年度まで)に基づき、職員採用の実施と適正な人事配置を行っている。</p> <p>【課題】 コロナ禍による生活様式の変化など計画策定時とは異なる社会環境が生じており、計画の見直しが必要となっている。</p>
-------------	--

取組目標	第5期職員定員管理計画に基づき、計画的な職員数管理を行う。 第6期職員定員管理計画を策定し、計画的な職員数管理を行う。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	第5期職員定員管理計画	計画	405人	409人	411人		
		実績					
	第6期職員定員管理計画	計画				策定予定	策定予定
		実績					

方法手段	職員数と業務量のバランスについて各課に対してヒアリングを行い、第6期職員定数管理計画を策定する。行政需要の変化や社会情勢の変化を見据え、令和3年度から準備を始め、令和5年度に策定する。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	第5期職員定員管理計画	計画	実施				
		実績					
	第6期職員定員管理計画	計画		検討		実施	
		実績					

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

適正な人事配置 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう		推進項目	(4) 組織力向上につながる人材確保と育成	
取組番号	40	取組項目	多様な人材確保	担当所属名	人事課

令和2年度アクションプランの現状と課題	<p>【現状】 優秀な職員を採用するため、職員採用試験の応募者の増加を目指しているが、目立った増加には至っていない。</p> <p>【課題】 公務員を志望する多くの人に対し、他市町村には無いみよしの魅力を広く伝え、みよし市を第1志望としてもらえるような働きかけを行っていく必要がある。一方、「人物重視」の試験方針に基づいて試験を行っているが、面接にかける時間にも限界があり、応募者の増加に対応できる選考方法を工夫する必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 1次試験受験者数200人)</p>
---------------------	--

取組目標	職員採用試験により職員を確保する。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	採用人数	計画	10人程度	10人程度	10人程度	10人程度	10人程度
		実績					
	試験の応募者数	計画	400人	400人	400人	400人	400人
実績							

方法・手段	<p>動画面接を導入する。応募者全員の面接を実施し、応募者の人物を見て選考を実施する。 また、一般的に認知度の高いSPI試験(基礎能力・性格適性検査)を導入することにより、受験しやすい環境を整える。 採用ガイド、ポスターを作成するほか、新たなメディアを活用してみよしの魅力を伝えることにより、みよし市を第一志望とする応募者の増加を図る。</p>							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	動画面接の実施	計画	実施					
		実績						
	SPI試験の実施	計画	実施					
実績								

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

多様な人材確保 におけるSDGsゴール

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう	推進項目	(4) 組織力向上につながる人材確保と育成
取組番号	41	取組項目	将来に向けた人材育成
		担当所属名	人事課


令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 「みよし市人材育成基本方針」に基づく人材育成に取り組んできたが、地方公務員法の改正、女性職員の職業生活での活躍推進、働き方改革の推進など、自治体を取り巻く様々な環境変化に対応するため、令和3年4月に同基本方針の改訂を行った。</p> <p>【課題】 職員一人ひとりの能力や意欲を最大限に引き出す人材育成を行っていくため、職員のキャリアデザインを踏まえたOJTの実施や管理職、監督職のマネジメント能力の向上を図っていく必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 意欲をもって仕事に取り組む職員の割合 65.1%)</p>
-------------	--

取組目標	<p>目標管理を活用した人事評価により、目標達成に向けてチャレンジする職場風土を醸成し、職員が、意欲的に仕事に取り組むことができるようにする。</p>						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	意欲をもって仕事に取り組む職員の割合	計画	66.0%	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%
実績							

方法・手段	<p>人材育成基本方針に基づき、人事評価とOJTによる職員の能力開発を推進するとともに、新規採用職員に対するトレーナー制度の拡充や、管理職、監督職の指導力強化を図る。</p> <p>また、組織のマネジメント力向上を図るため、管理職候補者に対する人材アセスメント研修や、監督職に対するマネジメント研修等を実施する。</p> <p>一方、職員一人ひとりが自身のキャリアプランに基づき、ゼネラリスト、エキスパート、スペシャリストを選択し、必要な経験を積むことができるよう、制度の定着化を図る。</p>							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	人材アセスメント研修	計画	実施					
		実績						
マネジメント研修	計画	実施						
	実績							

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

将来に向けた人材育成 におけるSDGsゴール



第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう	推進項目	(4) 組織力向上につながる人材確保と育成
取組番号	42	取組項目	女性の職業生活における活躍の推進
		担当所属名	人事課

令和2年度のアクションプランの現状と課題	<p>【現状】 令和2年度に特定事業主行動計画を改訂し、任用しようとする女性に対する職業生活に関する機会の提供、職員の職業生活と家庭生活との両立に向けた取組等を推進している。</p> <p>【課題】 行政職のうち女性の割合は管理職で15%、監督職で17.7%、行政職の男性職員のうち、育児休業取得率は30%、育児参加のための休暇取得率は0%となっており、今後も積極的に女性職員の活躍の推進を図る必要がある。</p> <p>(令和2年度実績 女性職員の管理職の割合15%、男性職員の育児休業取得率25%)</p>
----------------------	---

取組目標	行政職のうち女性の割合を、管理職で25%、監督職で30%とする。 行政職の男性職員のうち、育児休業取得率を40%、育児参加のための休暇取得率を60%とする。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	女性職員の管理職の割合	計画	17.0%	20.0%	22.0%	25.0%	27.0%
		実績					
	男性職員の育児休業取得率	計画	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%
実績							

方法・手段	育児や子育てに関する制度を周知するとともに、職場において仕事と子育てが両立しやすい雰囲気づくりを進め、男性職員の育児参加を促進することなどを人事評価の対象とする。 女性向けのキャリアデザイン研修の実施、若手職員に対する育児休業の取得や今後のキャリア形成に関する情報提供や個別相談に応じるなどの支援を行う。							
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7	
	特定事業主行動計画	計画	実施					
		実績						
	新計画	計画				検討	実施	
実績								

令和3年度取組実績	進捗度		評価	

女性の職業生活における活躍の推進 におけるSDGsゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第7次みよし市行政改革アクションプラン取組項目個別シート

重点項目	4 将来に向けた組織力の強いまちをつくらう	推進項目	(4) 組織力向上につながる人材確保と育成
取組番号	43	取組項目	在宅勤務の推進
		担当所属名	人事課

令和2年度の現状と課題	<p>【現状】 働き方改革により、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を目指し、労働生産性の向上、女性活躍の推進、仕事と家庭との両立などの課題を解消するため、在宅勤務は選択枝の一つとして期待されている。 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、テレワークの強化による出勤者削減が国から求められ、本市では、令和2年4月に在宅勤務実施要綱による在宅勤務を開始、また、令和3年1月から自治体ネットワークシステムを利用したテレワーク環境を試験的に導入した。</p> <p>【課題】 今後、より一層在宅勤務のしやすい環境づくりが必要となっている。</p>
-------------	--

取組目標	在宅勤務の推進のため、テレワーク環境を整備し、本格導入する。整備台数は、本庁勤務者の20%となる60台とする。						
	数値目標	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	テレワーク可能台数	計画	試験	30台	40台	50台	60台
		実績					

方法手段	試験導入の実施状況に基づいて実施規模と実施方法を検討し、テレワーク本格導入のためのシステム整備を行う。育児や介護を抱える職員、病気やケガの治療、災害による出勤困難など、様々な機会において仕事との両立を可能とするため、在宅勤務の利用浸透を図る。						
	取組計画	年度	R3	R4	R5	R6	R7
	システム整備	計画	試験	実施			
		実績					

令和3年度取組実績	進捗度	評価

在宅勤務の推進 におけるSDGsゴール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

